

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
平成 26年 6月 24 日	
都道府県知事 (市長)	殿
提出者	
住 所 伊丹市昆陽1丁目1番地2	
氏 名 伊丹市上下水道局	
伊丹市上下水道事業管理者 村上 雄一	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 072-783-1600	
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	伊丹市上下水道局千僧浄水場
事業場の所在地	伊丹市広畑6丁目1番地
計画期間	平成26年4月1日 から 平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	3611 上水道業
② 事業の規模	21,424,260(t/年) (平成25年度実績)
③ 従業員数	17人 (H26年4月1日～)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
別紙1、2のとおり		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（ 25 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり
	排出量	t
	(これまでに実施した取組) 発生する産業廃棄物の合計は14,920t/年であり、そのうち無機性浄水汚泥が14,918t/年で99.9%を占めており汚泥を脱水により1,083t/年に減量後、園芸用として全数売却している状況である。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組) 現状では、前年同様に行うが浄水汚泥に関しては原水水質に左右されるため抑制することは難しい。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各グループ別に廃プラスチック、蛍光灯、無機性汚泥に区画分けを行い保管している。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 前年度同様に行う。	

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 25 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙2のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 特に無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙2のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 25 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙2のとおり	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 無機性浄水汚泥が14,918t/年で脱水により1,083t/年に減量した。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 特になし			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 25 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 25 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙4のとおり	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	別紙4のとおり		
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
特になし			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

産業廃棄物発生工程フローシート

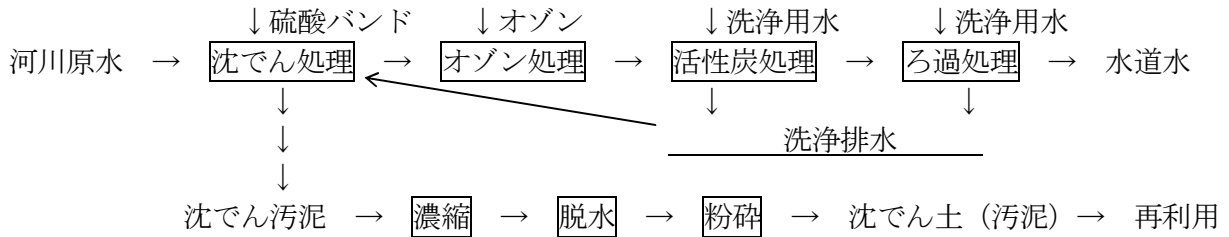
No.1 廃プラスチック

清掃 → 廃プラスチック → 収集運搬<委託> → 中間処理<委託>

No.2 廃電気機械

蛍光灯交換 → 廃電気機械 → 収集運搬<自主> → 中間処理<委託>

No.3 汚泥

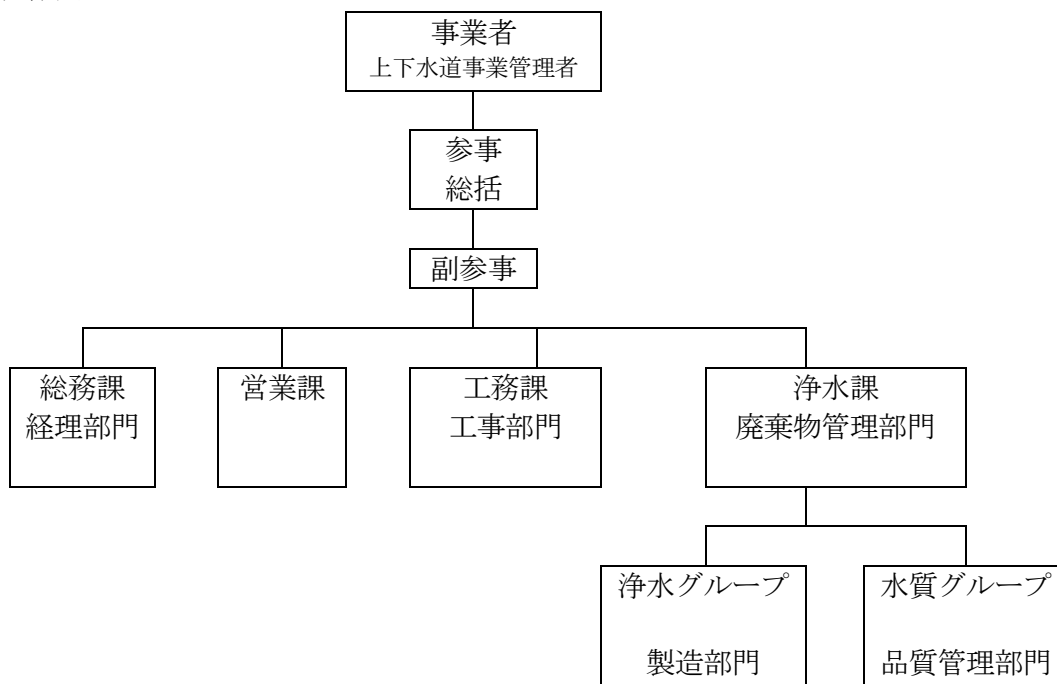


委託処理の状況

契約の状況は、次のとおり。

廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス等	無機性汚泥
運搬収集	(株)大協	自主運搬	—
契約の相手先	(株)摂津清運	(株)ジェイ・エム・アール	—
処理内容	中間処理 (破碎選別)	中間処理 (破碎切断及再資源化)	脱水及粉碎

管理組織図



別紙 2

各部署の役割

部署	役割
浄水課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>各部署間の調整</li> <li>処理施設の定期査察</li> <li>行政に対する報告</li> <li>産業廃棄物の適正管理、減量化等に関する啓発</li> </ul>
浄水グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物の種類、性状、発生量および排出量の把握</li> <li>各現場の施設の維持管理点検等</li> <li>保管施設での保管量の把握</li> <li>産業廃棄物の分析</li> <li>廃棄物の資源化、減量化、適正管理についての検討、産業廃棄物処理計画の策定および実施</li> </ul>
水質グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物の種類、性状、発生量および排出量の把握</li> <li>各現場の施設の維持管理点検等</li> <li>保管施設での保管量の把握</li> </ul>
総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物処理委託料金の支払方法による業者管理</li> </ul>

平成 25 年度に対する平成 26 年度の目標および具体的取組みは、次のとおり。

廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス等	無機性汚泥	具体的取組み
排出抑制 (t/年)				浄水汚泥に関しては原水水質に左右され抑制することは難しい。
実績発生量	2	0.01	14,918	
計画発生量	2	0.01	14,000	
抑制増加量	0	0	918	
再生利用量 (t/年)				汚泥を園芸用に再利用
実績	0	0	1,083	
計画	0	0	1,000	
増加量	0	0	-83	
中間処理による減量化 (t/年)				汚泥を脱水により減量
実績	2	0.01	13,835	
計画	2	0.01	13,000	
減量増加分	0	0	835	
最終処分 (t/年)				
実績	0	0	0	
計画	0	0	0	
減少分	0	0	0	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

○現状 前年度(平成25年度)実績

廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス等	無機性汚泥
自ら再生利用を行った量	0 t	0 t	0 t

○計画 目標

廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス等	無機性汚泥
自ら再生利用を行う量	0 t	0 t	0 t



別紙3

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

○現状 前年度(平成25年度)実績

廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス等	無機性汚泥
自ら熱回収を行った量	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した量	0 t	0 t	13,835t

○計画 目標

廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス等	無機性汚泥
自ら熱回収を行う量	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する量	0 t	0 t	13,000t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

○現状 前年度(平成25年度)実績

廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス等	無機性汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分行った量	0 t	0 t	0 t

○計画 目標

廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス等	無機性汚泥
自ら埋立処分又は海洋投入処分行う量	0 t	0 t	0 t

別紙 4

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

○現状 前年度(平成25年度)実績

【現状】				
現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス等	無機性汚泥
	全処理委託量	2t	0.01t	0t
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	2t	0.01t	0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t

○計画 目標

【目標】				
目標	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス等	無機性汚泥
	全処理委託量	2t	0.01t	0t
	優良認定処理業者への処理委託量	0t	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	2t	0.01t	0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t